

令和6年度事業報告

生産者の所得向上と本県農業の持続的な発展に向け、県やJAグループ、農業団体との緊密な連携の下、生産振興対策事業、野菜価格補償事業、農地中間管理事業（公益目的事業）と生産者団体の活動を支援する組織力強化対策事業（共益事業）に取り組んだ。

第1 会議等の開催（法人運営事業）

1 会議の開催

（1）総会の開催

ア 通常総会 令和6年6月28日（金） 於：プラザ菜の花

（ア）令和5年度事業報告及び収支決算

（イ）令和6年度会費額

（ウ）役員の改選

（2）理事会の開催

ア 定例理事会 令和6年6月13日（木） 於：プラザ菜の花

（ア）令和6年度通常総会の開催

（イ）令和6年度通常総会提出議案

a 令和5年度事業報告及び収支決算

b 令和6年度会費額

c 役員の改選

（ウ）賛助会員の入会

・報告事項

（ア）令和5年度理事長及び専務理事の業務執行状況

イ 臨時理事会 令和6年6月28日（金） 於：プラザ菜の花

（ア）理事長及び副理事長、並びに専務理事の選任

ウ 臨時理事会（書面開催） 令和6年9月13日（金）

（ア）理事の選任

エ 臨時理事会 令和6年12月18日（水） 於：千葉県教育会館

（ア）副理事長の選任

・報告事項

（ア）農地中間管理事業農地賃貸料未収金に関する取組状況

オ 定例理事会 令和7年3月19日（水） 於：千葉県教育会館

（ア）令和6年度更正予算

（イ）令和7年度事業計画及び収支予算

（ウ）賛助会員の入会

・報告事項

（ア）農地中間管理事業農地賃借料未収金に関する取組状況

（イ）農地中間管理事業評価委員会の開催結果

（ウ）令和6年度理事長及び専務理事の業務執行状況

(3) 定期監査の実施

- ア 期 日 令和6年6月6日(木) 於：プラザ菜の花
イ 内 容 令和5年度事業執行状況及び収支決算監査
- ウ 監 事 根本 実(富里市農業協同組合代表理事組合長)
松本康治(丸朝園芸農業協同組合代表理事組合長)
湯山弘二(農林中央金庫千葉支店長)

2 県実施の監査等

(1) 令和5年度財政的援助団体等監査

(地方自治法第199条第7項の規定による行政監査)

財政的援助団体等監査については、県からの補助金等の財政的援助や資本金、基本金その他これに準ずるものの4分の1以上の出資を県から受けている法人を対象に実施されており、当協会は平成26年度から対象団体に位置付けられていることから、本年度も法令に基づく県監査委員事務局監査を受検した。

ア 千葉県監査委員事務局 職員監査の実施(立入)

- (ア) 受検年月日 令和6年9月30日(月) 於：当協会事務所
(イ) 監査内容 出納その他の事務書類及び事業の執行状況等調査の実施
(ウ) 監査人 千葉県監査委員事務局職員

イ 本監査

- (ア) 受検年月日 令和6年11月27日(金)(於：監査委員事務局監査室)
(イ) 監査内容 令和5年度会計に基づく監査対象団体監査
(ウ) 監査人 監査委員(1名) 川口委員(識見)
(エ) 講評(監査結果)

- a 注意事項 農地中間管理事業における農地賃料について、15,748,152円の収入未済が認められた。今後は、債権回収マニュアルに基づき債権回収を進めるとともに、債務者の個票を作成し、時効の進行状況の管理を適切に行うなど適正な債権管理を行い、解消に努めること。
- b 指摘事項 令和5年度の財務諸表において、経理の誤りにより未収金等が20,000円過小となっている事例が認められた。今後は債務者ごとに未収金額等が把握できる個票を作成し、未収金の管理を徹底するとともに、決算時における債務額のチェック体制を強化するなど、再発防止に向けた対策を講じること。

3 委託業者等指名業者選定審査会

委託指名業者を公正かつ適正に選定することを目的として、「委託業者等指名業者選定審査会」を設置した。

(1) 審査委員長 専務理事

(2) 審査会の開催

ア 第1回指名業者選定審査会

(ア) 審査年月日 令和6年10月2日(水)

(イ) 委託内容 農地管理業務(以下3件)

a 農地中間管理事業書類発送業務(耕作者)

b 農地中間管理事業書類発送業務(地権者)

c 農地中間管理事業管理システムカスタマイズ業務

4 税理士による業務運営の適正化

税理士との顧問契約により、公益法人としての適正な会計処理及び協会全体の業務運営の適正化に努めた。

(1) 契約事務所：加藤武人税理士事務所・株式会社加藤会計事務所(千葉市中央区)
代表取締役：加藤武人、税理士(会計顧問)：石毛利和

(2) 支援内容：月次経理検査の実施、決算支援、法定調書、税務申告等における会計支援、公益法人運営の指導及び支援等

第2 生産振興対策事業（公益目的事業1）

1 産地活性化促進事業

（1）園芸産地強化事業

国内外の産地間競争が激化する中、量販店などの大口需要に対応するためには、個別産地の取組に加え、県内産地が戦略的に連携するオール千葉体制による生産・販売力強化の取組が求められている。

こうした状況に対応するため、平成26年度以降、本県の主要園芸7品目（トマト、ねぎ、にんじん、さつまいも、だいこん、キャベツ、きゅうり）において、各品目別協議会を設置した。また、産地連携が可能な地域品目である、すいか、やまといも、レタスについても、既存の協議会（すいか、やまといも）や新たに設置した協議会（レタス）による取組を平成30年度から開始した。

しかしながら、本県野菜及びいも類の産出額はピーク時の平成28年には2,162億円あったものが、令和5年は1,548億円となり、約3割減少するなど、厳しい状況が続いている。

そこで園芸協会及び県、全農千葉県本部では、令和4年度以降、産出額の多いトマト、ねぎ、にんじん、さつまいもの4品目を強化品目に位置付け、重点的に産地振興に取り組んでいる。

また、定期的に県、主要JA、全農千葉県本部と意見交換会を実施し、効果的な振興方策について検討を行うとともに、令和5年度からは、主要JAの担当部長を強化4品目の品目別協議会の部会長とすることで、産地とより密になった活動を展開している。



主要JA等との意見交換会

（参考）千葉県園芸協会が公益法人化して以降の産出額及び主な取組内容

（出典：産出額は「生産農業所得統計」、販売農家戸数は「農林業センサス（販売目的で野菜を作付けした農家数）」）

	農業		野菜＋いも類			強化４品目の産出額（億円）				野菜販売農 家戸数 （戸）	主な取組内容	備考
	産出額 （億円）	順位	産出額 （億円）	うち、野菜 産出額（億円）	うち、いも類 産出額（億円）	さつまいも	ねぎ	トマト	にんじん			
平成26年	4,151	4	1,818	1,611	207	181	170	138	109		【トマト】選果基準表、カラーチャートを作成 【にんじん】市場内合同販促の開始 【さつまいも】べにはるかの「30日貯蔵ルール」の徹底	園芸協会の公益法人化
平成27年	4,405	4	1,979	1,749	230	191	209	149	120	17,467	【トマト】共通着色基準での出荷と集中的な販促の開始 【ねぎ】プレミアム夏ねぎの生産開始 【にんじん】主要JAにおける出荷小袋デザインの統一 【さつまいも】品種別販売方針の策定と品種別販促の実施	全国的な豊作傾向
平成28年	4,711	4	2,162	1,927	235	201	222	143	157		【ねぎ、トマト】出荷箱デザインの共通化 【ねぎ】栽培マニュアルの作成・配布と市場内合同販促の定着化	東北の梅雨明けの遅れ、６、７月の 北海道の天候不順、台風による大雨
平成29年	4,700	4	2,033	1,829	204	178	210	136	138		【トマト】環境モニタリング装置の導入試験の開始 【ねぎ】初夏ねぎの共通シールの作成 【にんじん】秋冬作のL級入り本数の統一と、主要JAにおける一部呼称の統一	８月の天候不順、10月の曇天・長雨 （極端な日照不足）、台風が連続し て上陸・接近
平成30年	4,259	4	1,744	1,546	198	177	173	128	114		【にんじん】出荷箱デザインの共通化 【さつまいも】主要JAにおいて主な等階級の統一と、調製作業の労力補完に向 けた実証試験	全国的な豊作 （ねぎ37億円減、にんじん24億円 減、だいこん61億円減、キャベツ35 億円減、ほうれんそう83億円減）
令和元年	3,859	4	1,512	1,305	207	176	151	92	102		【ねぎ】加工業務向けの新規生産支援 【にんじん】台風被害への対応のため、市場等への正確な産地情報の提供、復 旧のPR実施、ハウス再建に向けた取組 【さつまいも】台風被害への対応のため、品種別販売方針を実態に即して見直 し、生産者・販売者への周知	令和元年房総半島台風、東日本台風 等の暴風雨
令和２年	3,853	4	1,628	1,383	245	178	173	89	114	13,291 （H27比 76％）	【全品目】新型コロナウイルスの感染拡大に伴うWEB販促の実施と各種ポス ター等の販促資材の作成 【トマト】共通スタンドパックの作成と、環境制御技術の普及に向けた研修会 の開始	新型コロナウイルスの感染拡大（外 食の減少）
令和３年	3,471	6	1,495	1,280	215	188	138	92	96		【トマト】冬春作について、関係機関での「トマトのあり方検討会」を開始 【ねぎ】栽培マニュアルの改訂 【さつまいも】新産地の育成に向けた意向確認と必要な種芋の確保	鳥インフルエンザの大規模発生 （R2,12月～）、米価の下落、飼料 用米への作付転換
令和４年	3,676	4	1,550	1,335	215	194	128	99	105		◎「トマト」「ねぎ」「にんじん」「さつまいも」を強化品目に位置付け 【トマト】千葉県の地理的優位性を生かした新たな販売への取組検討 【ねぎ】生産拡大及び11型パレットに対応した新規格の導入検討 【にんじん】しみ症を中心とした病害虫対策の実施 【さつまいも】本格的な新産地育成の取組開始（切苗の提供、関係機関による 現地巡回及び栽培講習会の開催）、既存産地での「産地課題検討会」開催	資材・エネルギー価格の高騰
令和５年 （ピーク比）	4,029 （86％）	4	1548 （72％）	1,336 （69％）	212 （87％）	185 （92％）	131 （59％）	99 （66％）	116 （74％）		【トマト】高温対策試験の実施、新たな販売への取組検討 【ねぎ】簡素化規格及び11パレット対応出荷箱の導入決定、準周年化の推進 【にんじん】しみ症対策展示圃の設置、規格統一の協議 【さつまいも】若手生産者研修会開始、新産地の（生産者・指導者）研修	新型コロナが５類感染症に移行 １年を通して高温傾向、さつまいも 空洞症が多発
令和6年	未公表										別紙参照	高温や天候不順により、園芸品目の 出荷額が例年の約8割に大幅減

ア 品目別協議会等の運営・設置

(ア) トマト協議会

目標：「県の優位性を生かした新たな販売と病害虫対策による生産拡大」

目標産出額（R7）：160 億円（令和 5 年実績：99 億円）

《令和 5 年度までの取組と成果の概要》

- a 産地間で異なる出荷時の着色や品質の均一化を図るため、J A や市場等を参集した販売検討会議を設置し、県共通の着色度合いや、県内各産地及び他県競合産地の品質チェック、規格統一に向けた協議等に取り組んだ。
- b ロットの集約による高単価販売を目指し、量販店で複数産地のトマトを集約した販売を試行した。
- c 春トマトの生産対策として環境モニタリング装置の導入試験を行ったほか、専門家を講師に迎え、現地でのコンサルティング研修会を実施した。また、産地全体での抑制トマトの生産対策として高温対策試験にも継続して取り組んだ。
- d 春トマトの販売対策として、「千葉県地理的優位性を生かした高鮮度・高品質なトマト」を売りにした新たな有利販売方法を協議し、J A 長生施設野菜部会の協力のもと鮮度を生かした新たな販売を試験した。
また、「千葉県青果物近畿フェア」における県産野菜の販売促進活動を実施したほか、トマト産地との協議を実施し、共通着色基準を決定した。
- e 連携意識の向上や取組強化を目的として、生産者代表を集めた情報交換会や、販売促進活動に参加した若手生産者を集めた意見交換会、生産性向上に向けてスマート農業の推進に係る現地検討会等を開催した。

《令和 6 年度の主な活動と成果》

a 生産力強化

抑制トマトの高温対策や黄化葉巻病対策の推進に向け、技術実証圃、生産対策検討会を開催した。また、病害虫のウイルス病の多発を受け、研修会を開催した。

b 販売力強化

冬春トマトにおいては、引き続き「千葉県地理的優位性を生かした高鮮度・高品質なトマト」を売りにした有利販売方法を協議した結果、新たな実需先との継続的な契約取引に結びついた。

《今後の取組》

- a 抑制作においては、引き続き高温対策や病害虫対策を中心とした展示ほ等を設置し、生産量の維持拡大と品質の向上を目指した取組を行う。
- b 冬春作においては、引き続き新たな販売方法の検討をするとともに、千葉会と連携した、11 パレットに対応した規格の検討、品質の向上に向けた品質調査等の販売対策を行う。



微小害虫・ウイルス病対策研修会



抑制トマト生産対策
中間検討会

(イ) ねぎ協議会

目標：「簡素化規格の導入や生産対策による生産量の維持拡大」

目標産出額（R7）：210 億円（令和 5 年実績：131 億円）

《令和 5 年度までの取組と成果の概要》

- a 県産ねぎの生産拡大を図ることを目的に高値販売が期待できる 4～5 月出荷の初夏ねぎ（プレミアム夏ねぎ）の技術支援（栽培マニュアル作成等）、助成措置、先進地視察、市場内販促等と併せ、出荷用段ボールやオール千葉仕様の販売資材を作成して支援したことで新しい作型として定着した。
- b 作型ごとの栽培方法をまとめたマニュアルを作成・増刷し、県内全域の技術向上を支援したほか、重要病害である黒腐菌核病の対策試験を継続して実施した。
- c 秋冬ねぎにおいて、年内出荷比率を高めるための軟白部 27cm 出荷の新規格を継続して推進したほか、産地合同での市場内販促を実施した。
- d 加工業務用産地の育成に向け、生産者を対象とした研修会の開催や、関係機関を参集し、加工業務用ねぎの先進産地である秋田県を視察した。

《令和 6 年度の主な活動と成果》

a 生産力強化

規模拡大へつながる準周年化栽培及び単収向上に向けた支援として、栽培研修会・実技研修会や先進地視察研修会を実施するとともに、夏越し対策の情報収集や意見交換を実施した。

b 販売力強化

令和 5 年度に産地に提案した新規格（白身長さ 27 c m）及び箱サイズ統一について各産地の合意が得られ、令和 6 年産秋冬ねぎから県内ほぼ全産地で運用が始まった。新規格の運用を円滑にすすめるため、写真付き規格ポスターとねぎゲージを作成し生産者に配付した。

《今後の取組》

- a 単収向上に向けた支援策として各産地の優良事例を調査し、夏越し対策・育苗方法・土づくり等を再検討し、産地とともに年内出荷比率を含めて議論する。また、ねぎ経営規模拡大につながる準周年化栽培を推進するため講習会等の技術支援を継続的に実施する。
- b 千葉県産地育成・活性化推進会議等で、各産地から出荷されたねぎの品質調査を実施し、高品質ねぎの出荷を推進する。



先進地視察会



初夏ねぎ実技講習



写真付き規格表・ねぎゲージ

(ウ) にんじん協議会

目標：「病虫害対策等の実施による生産量の維持拡大」

目標産出額（R7）：150 億円（令和 5 年実績：116 億円）

《令和 5 年度までの取組と成果の概要》

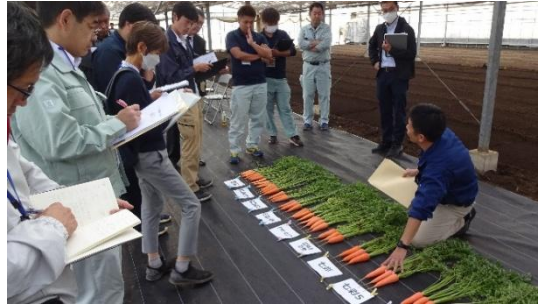
- a 秋冬になんじんについては、産地ごとに出荷規格や出荷形態が異なることから、それらの統一化に向けた提案を行い、次の成果が得られた。
 - (a) 3 J A で出荷小袋の規格とデザインが統一された。
 - (b) 出荷規格について、L 級を先行して統一した。
 - (c) 関係 J A が連携し、合同販売促進活動を実施した。
 - (d) 関係 J A 統一で、出荷箱にチーバくんのデザインを導入した。
- b 難防除害虫ヒョウタンゾウムシの防除対策として効果の高い薬剤が明らかとなり、当該農薬メーカーとの連携により登録に向けた試験を実施した（令和 6 年度に適用拡大）。
- c 生産上の大きな課題となっている病虫害（しみ症、ヒョウタンゾウムシ等）対策のチラシを作成・配布した。

《令和 6 年度の主な活動と成果》

- a 生産力強化
 - (a) しみ症対策試験圃の設置を支援し、結果を協議会で共有した。
 - (b) 有望品種及び重要病虫害防除に関する情報交換を図るため、10 月 31 日に種苗会社との意見交換会を開催した。
- b 販売力強化
 - (a) 協議会において、出荷規格を統一していくことについて、関係者の同意が得られた。
 - (b) 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的とした「千葉県青果物近畿フェア」及び「千葉県フェア」にて販売促進活動を支援した。

《今後の取組》

- a 生産量の維持拡大に向けて、春夏になんじんを中心とした病虫害対策を推進するとともに、各産地が抱える課題解決や新産地育成の検討を進める。
- b 販売単価の向上に向けて、11 パレットに対応した出荷箱及び県統一出荷規格の検討を進めるとともに、千葉会等と連携した販売促進活動を行う。



種苗会社との意見交換会

(エ) さつまいも協議会

目標：「労力や貯蔵庫整備への支援及び新産地の育成による生産拡大」

目標産出額（R7）：230 億円（令和 5 年実績：185 億円）

《令和 5 年度までの取組と成果の概要》

- a 競合する他県産地との差別化に向け、千葉県における品種別の販売方針を作成し、方針に基づいた計画的な生産・販売を進めた。
- b 既存産地にて産地課題検討会を開催し、労働力対策、集選果場及び貯蔵庫の整備等の課題について整理し、先進地視察を実施した。
- c 販売面では、適切な時期に販売促進活動を実施した。また、PR 資材として、チーバくんのスイングポップや品種別ミニポップ、ポスター、焼きいも袋等を作成した。
- d 令和 4 年度から、新たに新産地の育成に着手した（JA きみつ、JA 千葉みらい、JA ちばみどり）。健全苗の供給体制整備、栽培指導、新産地向けの県域研修会などを農林総研・全農ちば・担い手支援課等と連携して実施した。また、新産地共通の出荷箱を令和 5 年度に作成した。
- e 令和 5 年度より、「さつまいも若手生産者研修会」を開催し、意欲的な若手生産者の産地を超えた仲間づくりと資質向上に取り組んでいる。

《令和 6 年度の主な活動と成果》

- a 生産力強化
 - (a) 規模拡大を担う若手生産者研修会を 2 回開催し、県内生産者延べ 61 名が出席した。新たに県外の生産者等との交流も行い、技術的な情報提供や先進機械の実演を行ったことで、仲間づくりと資質向上が一層進んだ。
 - (b) 喫緊の課題となっている空洞症対策への経費補助を行い、他の試験結果等と併せて技術担当者会議にて情報共有した。
 - (c) JA かとりにおける「産地課題検討会」を開催し、選果場の新設・増設等の今後の課題解決策を協議した。
 - (d) 新産地育成については、特に JA ちばみどりにおける新品種「あまはづき」の試験栽培・販売を、農業事務所・全農ちば・農林総研を中心に支援し、結果を協議会で共有した。苗供給や棚持ちなどの問題はあるものの、食味の評価は高く、次年度も継続することとなった。新産地における令和 6 年度の作付面積は約 33ha となった。

b 販売力強化

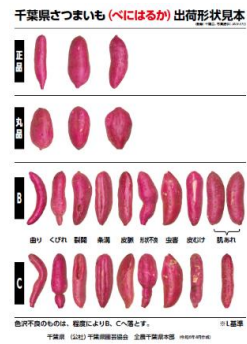
- (a) 新たに「べにはるか」及び「シルクスイート」の形状見本を作成し、県内ＪＡ等の関係機関へ配布した。
- (b) 「千葉県フェア」、「べにはるかの日」等における販売促進活動を実施した。
- (c) 「べにはるかの日」ミニのぼりを作成し、販促に活用した。

《今後の取組》

- a 空洞症等の発生等による品質低下が問題となっていることから、病障害対策の確立と新品種の導入検討、新産地の技術指導を進める。
- b 担い手の確保・育成に向け研修会を開催し、各地域での新規就農者受け入れ体制の整備を推進する。
- c 集選果場整備や健全苗確保体制の整備などの労力対策を推進する
- d 流通・販売対策として、１１パレットに対応した出荷箱の作成の協議、千葉県と連携した販売促進活動を行う。



若手生産者研修会



べにはるか形状見本

(オ) だいこん協議会

《令和５年度までの取組と成果の概要》

- a 安定生産の継続に向け、連作による生育障害などを回避するため、産地の土壌分析を行い、改善対策を講じるための基礎資料とした。
- b 秋冬野菜として、産地ＪＡ等と連携し販売促進活動に取り組んだ。
- c 経営規模の拡大等に向けた省力化機械（引拔機）の実演を行った。
- d 取組産地等に対する情報収集及び県共通の販売促進資材の作成を行った。

《令和６年度の主な活動と成果》

- a 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的に、「千葉県青果物近畿フェア」を実施した結果、本県産の販売が拡大した。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。

(カ) キャベツ協議会

《令和５年度までの取組と成果の概要》

- a 出荷量が減少する１月から４月の期間に安定生産が可能となるよう、品種の比較試験に取り組み、結果を産地や関係機関と共有した。

- b 秋冬野菜として、産地 J A 等と連携し販売促進活動に取り組んだ。
- c 加工業務用需要の拡大を受け、取組のメリットなどを検討するための研修会を開催した。
- d 加工業務用キャベツの栽培マニュアル（案）を作成した。
- e 県共通の販売促進資材（スイングポップ）を作成した。

《令和 6 年度の主な活動と成果》

- a 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的に、「千葉県青果物近畿フェア」を実施した結果、本県産の販売が拡大した。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。



企業と連携した量販店フェア



企業が提案したレシピ例



千葉県青果物近畿フェア

（キ）きゅうり協議会

《令和 5 年度までの取組と成果の概要》

- a 単収向上に向けたハウス内環境制御技術の現地実証試験を実施し、CO₂施用効果が高いことを確認した。また、専門家を講師とした「みんなで学ぼう施設園芸スマート農業研修会」及び指導者向け「スマート農業研修会」を現地及びオンラインで開催した。
- b 販売促進活動を支援するためポスターを作成し、「いいきゅうりの日プロジェクト」の販売促進活動を実施した。

《令和 6 年度の主な活動と成果》

- a 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的に、「千葉県青果物近畿フェア」を実施した結果、本県産の販売が拡大した。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。

（ク）レタス協議会

《令和 5 年度までの取組と成果の概要》

- a おおむね出荷規格がそろっている、J A 安房・J A 木更津市・J A きみつで、選果基準表を作成した。
- b レタス協議会を開催し、産地や関係者での情報共有や先進地視察（香川県）を実施した。
- c J A 安房・J A 木更津市・J A きみつで、共通デザイン出荷箱を作成した。
- d 県共通の販売促進資材（スイングポップ）を作成した。
- e 県産レタスを P R するための合同販促を実施した。
- f 他品目を含めた物流体制の構築へ向けた協議を実施した。

《令和6年度の主な活動と成果》

- a 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的に、「千葉県青果物近畿フェア」を実施した結果、本県産の販売が拡大した。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。

(ケ) すいかの産地連携の取組

《令和5年度までの取組と成果の概要》

- a 県産すいかをPRするための合同販促を実施した。
- b 若手生産者による現地検討会を開催した。
- c 県共通販促資材（スイングポップ、ポスター）を作成した。ポスターはレギュラー品（大玉）のほか、3倍体、小玉など3種類を作成した。また、コロナ禍における販売促進活動として、チーバくんシールを貼ったカットすいか袋を量販店に提供したほか、一個玉すいかの販促資材として、すいか用エコバッグを作成し、直売所でのすいか購入者に配付した。

《令和6年度の主な活動と成果》

- a 県・全農主催による「千葉県スイカフェア」において、地の3JA（山武郡市、千葉みらい、富里市）とともに販売促進に取り組んだ。



千葉県スイカフェア

イ 産地人材育成の取組

各産地が将来にわたり「オール千葉」の視点を持って生産力・販売力の強化に取り組むことに資するよう、次の事項についてJAや県の担当職員を対象に人材育成研修を実施した。

(ア) さつまいも振興に係る視察研修会

- 期 日 令和6年9月11日（水）～12日（木）
- 場 所 JAみやざき串間大東地区本部かんしょセンター
農研機構九州沖縄農研センター
霧島さつまいも種苗生産センター「イモテラス」
- 参加者 県内JA（かとり、ちばみどり、君津市）、全農千葉県本部、千葉県、園芸協会 19名
- 内 容 JAみやざきでの集選果場整備・活用による産地振興事例調査
農研機構における基腐病対策や育種等に関する最新情報の収集
民間会社におけるさつまいも健全苗生産供給の事例調査

(イ) ねぎ振興に係る視察研修会

期 日 令和6年11月26日(火)～27日(水)

場 所 全農大分県本部

株式会社オーエス豊後大野ファーム

参加者 県内JA(長生、山武郡市、ちばみどり)、全農千葉県本部、千葉県、園芸協会 12名

内 容 労働力支援(農作業受託)に係る全農大分県本部の取組調査
ねぎ産出額100億円プロジェクトによる白ネギ産地拡大の取組調査



さつまいも視察研修



ねぎ視察研修

(2) 生産技術向上対策事業

ア 第72回千葉県野菜品種審査会の開催

野菜優良品種の選定と野菜種子の品質改善を目的とした千葉県野菜品種審査会を開催し、優良品種の普及・定着促進と、園芸農産物の品質向上を図った。

主催：千葉県、日本種苗協会千葉県支部、(公社)千葉県園芸協会

品 目	作 型	実施日	ほ場地
こかぶ	夏どり栽培	R6. 9. 10	農林総合研究センター 水稻・畑地園芸研究所 畑地利用研究室 (香取市)
ほうれん そう	冬どり栽培	R6. 12. 5	農林総合研究センター 本場 (千葉市)
レタス	3月どり栽培	R7. 3. 14	JA安房 神戸支店(館山市)

イ 各種共進会の開催

生産技術の向上や園芸生産者の意欲増進を目的とした各種共進会を企画した。

また、共進会の会場に一般消費者が多数来場可能な大型量販店等を利用することにより、本県園芸農産物の理解を深め、利用促進を図った。

品目	共進会名	開催期日	場 所
果樹	千葉なし(豊水)味自慢コンテスト	R6. 8. 31～9. 1	イオン津田沼店
植木	千葉県植木共進会	R6. 10. 19～20	東金植木流通センター
花き	千葉県フラワーフェスティバル	R7. 1. 17～19	(株)そごう千葉店

ウ 種苗生産事業

県からの委託事業を受け、県内生産に適した高品質な農産物を消費者に安定的に供給するため、種苗センター（長生村）において千葉県が育成した品種等の種苗生産に取り組んだ。

農作物原種生産事業実績（県委託事業）

品 目	計画数量	生産数量	配付数量
落花生	890 kg	890 kg	380 kg
カンショ	3,975 本	3,975 本	3,975 本
ヤマトイモ	1,200 kg	1,200 kg	1,200 kg
サトイモ	300 kg	300 kg	0 kg
イチゴ	1,100 本	1,100 本	998 本
ネギ	1,200 本	1,200 本	650 本
植木	1,000 本	1,000 本	790 本
ナシ	1,100 本	1,100 本	735 本
ビワ台木	800 本	800 本	370 本

エ 果実等生産出荷安定対策

果樹経営の安定的発展のため、国の果樹経営支援対策事業を活用し、産地が策定した果樹産地構造改革計画に基づいて行う改植や園地の基盤整備等の取組を支援した。

なし剪定枝については、発電用再生可能エネルギーとして活用するため、林野庁ガイドラインに基づく認定制度を継続して運用した。

(ア) 果樹経営支援対策事業

a 果樹経営支援対策事業の取組産地と取組内容（通常実施分）

産地協議会名	品目	実施内容	園地数 (件)	実施面積 (㎡)	備考
八千代市果樹産地協議会	梨	新植、改植	2	2,542	
印西果樹産地協議会	梨	用水・かん水	1	2,400	
白井果樹産地協議会	梨	改植	1	632	
香取市果樹産地育成協議会	梨	改植	1	203	
香取市果樹産地育成協議会	梨	改植、新植	2	1,034	
一宮・岬梨産地協議会	梨	新植、改植 放任園地防止	6	3,733	
房州びわ産地協議会	びわ	改植	1	224	R 5 採択分
安房柑橘産地協議会	レモン みかん	新植・改植	5	3,657	R 5 採択分
木更津市梨産地協議会	梨	改植	1	457	
合計			20	14,882	

(イ) なし剪定枝に係る認定制度の運用

林野庁のガイドラインに従い、剪定枝を集積・運搬する次の J A（平成 28 年度認定）について運用を継続した。

団体名	認定年月日	事業者の所在地
市川市農業協同組合	H28. 12. 12 R 1. 12. 12[継続] R 4. 12. 12[継続]	市川市

オ 表彰事業

県域でのコンクールをはじめ、県内各地域で開催される園芸品目対象の共進会や県民参加型のコンテストなど、公益的に広く開催されるものに対し、会長賞を交付し、園芸品目の奨励に努めた。

※公益社団法人千葉県園芸協会会長賞交付実績（交付数：15点）

共進会・コンクール名称	開催場所	開催日
千葉県温室びわ共進会	J A 安房富浦支店 とみうら枇杷倶楽部	R6. 5. 2
横芝光町夏期農業改良共進会	横芝光町役場	R6. 6. 13
富里市すいか共進会	富里中央公民館	R6. 6. 23
いちはら梨共進会	J A 市原市 東海宮農センター	R6. 8. 5
千葉なし(豊水)味自慢コンテスト	イオン津田沼店	R6. 8. 31～9. 1

千葉県植木共進会	東金植木流通センター	R6. 10. 19～20
八千代市園芸農産物共進会	八千代市総合運動公園	R6. 11. 9
船橋市農水産祭農産品評会	J Aいちかわ船橋支店	R6. 11. 9
いはら大収穫祭農林産物共進会	市原市農業センター	R6. 11. 9～10
八街市産業まつり農産物共進会	八街中学校体育館	R6. 11. 16～17
横芝光町産業まつり農業改良共進会	横芝光町体育館	R6. 11. 16
J Aきみつ農業まつり農畜産物品評会	君津市文化ホール	R6. 12. 7
千葉県フラワーフェスティバル花き共進会	(株) そごう千葉店	R7. 1. 17～19
千葉県青年農業者会議	千葉県教育会館	R7. 1. 22
高校生フラワーデザインコンテスト	千葉市 Qiball（きぼーる）	R7. 1. 25

（３）次世代につなぐ梨産地の育成事業（新規）

将来にわたり日本一の梨産地を維持するため、県の委託を受け「千葉県なしワンストップ窓口」を設置し、梨に関する相談対応や新規参入希望者と産地の調整、梨産地の技術支援のために専門家派遣を行った。

ア 相談窓口の設置：窓口設置の周知、梨園就農希望者の梨園見学を実施。

イ 産地サポート活動：新規就農者支援に取り組む産地との意見交換会、３か所
技術アドバイザーによる新規就農者への指導会、１０回

ウ 新規参入者向け梨管理マニュアルの作成

新規参入者の生産技術の向上と生産の安定につながるように、梨生産に係る栽培マニュアルを作成した。

初心者にわかりやすい表現で説明するとともに、写真やイラストを加えて、理解しやすいように作成した。

（４）担い手支援対策

青年農業者の確保・育成に向けた農業経営・就農支援センターの就農サポートの取組として、就農相談員を設置し、就農相談を実施するとともに、就農相談会、新規就農者交流会等を開催するなどの活動を、関係機関、農業団体等と連携の上、実施した。

また、農業無料職業紹介所の認可事業所として、農業法人等の求人情報収集や就農希望者に対する就職斡旋を実施した。さらに、担い手の経営課題に対応するためのセンター運営会議に参画した。

<参考>新規就農者数の推移

区分	新規就農者									(44 歳以下)	〈参考〉 新規就農者のうち雇用就農者
	計	農家子弟					新規参入者				
		計	新規学卒	離職就農者			計	49 歳以下	44 歳以下		
				計	49 歳以下	44 歳以下					
平成 25 年度	383	193	61	132	112	110	190	172	169	340	131
30 年度	341	156	48	108	102	97	185	176	168	313	133
令和元年度	317	145	47	98	89	81	172	153	137	265	107
2 年度	314	133	28	105	95	81	181	161	141	250	110
3 年度	377	134	33	101	91	80	243	213	193	306	160
4 年度	340	131	30	101	91	87	209	188	157	274	137
5 年度	321										

※県担い手支援課調べ（令和 5 年度の内訳は未公表）

ア 実施体制の整備

（ア）相談窓口の設置及びホームページの更新

サポート専属スタッフ及びプロジェクト専属スタッフを配置するとともに、当協会HPの「千葉県青年農業者等育成センター」のページを「ちばの大地で農業を始める（就農サポート）」に刷新した。

（イ）センター運営会議への出席

農業経営・就農支援センターが月例で行う専門家派遣等の紹介や事業活用を協議する運営会議に 11 回参画した。

イ 就農サポート活動

（ア）就農に関する相談活動及び相談カルテの整備

相談者数 149 名、相談件数 158 件。うち就農支援カルテ作成 15 件。

（イ）千葉県農業無料職業紹介事業

職業安定法に定める農業の職業紹介事業者として、就農希望者の就農相談と併せて雇用関係を結ぶための活動を行った。また、法人・経営体への求人掲載意向を随時調査し、協会HPの求人情報を更新した。

年度末求人登録者数 52 法人等。新規登録 13 法人等。

求職票提出者 9 名。成立件数 1 件。

ウ 農業を担うものの確保・育成プロジェクト活動

(ア) 就農情報の収集及び手引書作成

一般社団法人千葉県農業会議の協力のもと就農手引書を 1,500 部作成し、関係機関に配布するとともに、各種イベントや相談活動で活用した。

(イ) 相談会の実施

a 令和 6 年度千葉県農林水産就業相談会

千葉県内の第 1 次産業に興味を持つ方に向けて、各関係機関から農業・林業・漁業の説明を行うとともに先輩就農者の講話を企画した。

令和 6 年 11 月 23 日(土・祝) 会場：千葉市

来訪者：42 名 相談件数 82 件

セミナー形式による就農経験者等の談話 講師 2 名

対面個別就業相談 対面 16 ブース オンライン 16 農業委員会参加。

b 令和 6 年度千葉県「農業の雇用」就業相談会

午前・午後の 2 回に分け、会場・オンライン併用で各社の会社案内及び個別相談を実施した。

令和 7 年 3 月 1 日(土) 会場：千葉市

求人出展：16 社、来訪者：23 名

c 新・農業人フェアへの出展

全国の就農に興味を持つ相談者に千葉県での就農について説明した。

東京会場：8 月 31 日(相談 27 名)、12 月 8 日(相談 35 名)

大阪会場：10 月 27 日(相談 6 名)

エ その他の活動

(ア) 新規就農者交流会

新規就農者の定着を図るために先輩就農者の講義と 5 名の就農助言者による分科会を企画し、各々のネットワークを広げる交流会を実施した。

令和 6 年 10 月 3 日(木) 千葉市内 参加者 34 名

(イ) 雇用環境整備研修会

農業法人等における人材確保・定着セミナーを開催した。

令和 7 年 3 月 4 日(火) 千葉市内 参加者 30 名

2 販売対策事業

(1) 農産物販売促進活動

県産農産物の一層の販売促進を図るため、県及び農業団体等と一体となって、園芸品のPR活動や販売促進活動等を実施した。

ア 市場でのPR・販売促進活動

千葉県青果物近畿フェア

- ・期 日：令和6年12月7日～8日
- ・場 所：近畿圏スーパーマーケット 万代（大東赤井店、新石切店、他）
- ・参加団体：県、JA全農ちば、JA山武郡市、JA富里市、JAちばみどり、(公社)千葉県園芸協会
- ・内 容：近畿圏の消費者に対する県産秋冬野菜のPR
全農青果センター、大阪センターとの意見交換

イ 千葉県庁生活協同組合と連携した消費宣伝活動

県内各産地の認知度を高め農産物の販売促進を図るため、千葉県庁生活協同組合及び生産者団体である「千葉県野菜園芸組合連合会」、「千葉県果樹園芸組合連合会」、「千葉県花き園芸組合連合会」「千葉県いちご組合連合会」と連携し、千葉県庁中庁舎にて県内産農産物の販売を行った。

実施時期	協力JA	販売品目
令和6年4月	JA長生	トマト（「恋トマト」「長生トマト」）
5月	JA山武郡市	そら豆
6月	JA山武郡市	とうもろこし
8月	JA長生	梨
9月	JAいちかわ	梨
10月	JAきみつ	えだまめ（「小糸在来」）
令和7年1月	JA長生	葉たまねぎ、葉にんにく
2月	JAかとり JA安房	さつまいも、焼き芋（「紅はるか」） レタス、南房総レモン、食用なばな



初出店となったJA安房のレタス・レモン・なばな（令和7年2月7日）

ウ (一社) 日本種苗協会千葉県支部と連携した消費宣伝活動 (新規)

(一社) 日本種苗協会千葉県支部の会員がお勧めする価値のある品種を県内直売所に提案し、その価値をアピールしながら価値に見合った価格での販売を行った。

商品にはチーバくん図柄入りの品種を紹介するシールを貼付し、消費者アンケートを実施したほか、生産者にも栽培アンケートを実施し、種苗会社へのフィードバックを行った。

(ア) 実施直売所

以下の県内7直売所で実施した。

①JA 八千代市「よったいよ」、②道の駅やちよ、③農産物直売所かしわで、④道の駅・水の郷さわら、⑤道の駅くりもと「紅小町の郷」、⑥JA 山武郡市「山武緑の風」、⑦JA 長生ながいき市場

(イ) 対象品種数

春夏まき：11 品目 18 品種

秋冬まき：13 品目 18 品種



園芸協会で作成した商品貼付用シール



JA 八千代市での販売の様子

エ 「ちばエコ農産物」の認証に係る現地確認等業務 (県委託事業)

当協会で、「ちばエコ農業」に関する指導・助言等を行う「ちばエコ農業」推進アドバイザー (20 名) を登録し、県が実施する「ちばエコ農産物」の認証業務のうち、現地確認業務等を実施した。

(ア) 現地確認件数：99 件 (個人) 148 件 (産地) 合計 247 件 (昨年比 114%)

オ ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業の実施

県産花き・植木の需要拡大を図るため、生産や流通、販売等に係る関係者と千葉県花き振興地域協議会を組織し、次の活動を行った。

- (ア) 小中学校での花育体験の実施 (R6.10～R7.1 18 校 1,514 名参加)
- (イ) 高等学校での花育体験の実施 (R6.10～R6.12 13 校 192 名参加)
- (ウ) 高校生フラワーデザインコンテストの開催 (R7.1 8 校 20 名)
- (エ) 輸出向け植木の根洗い実証 (R6.7～R6.2 匝瑳市 現地ほ場 ほか)

カ ちばの植木生産拡大事業 (県委託事業)

県産植木の需要拡大に向け、県から委託を受けて輸出相談窓口の開設・運営、植木見本園の設置、植木生産の P R、植木研修会の開催等を行った。

(ア) 輸出相談窓口の開設

- ・ 相談場所：(公社) 千葉県園芸協会 事務所内 (千葉市)
- ・ 相談実績：0 件
- ・ 植木輸出情勢の報告 5 件

(イ) 生産者と実需者を結ぶ植木見本園の設置

実需者との交流の場を提供することで、生産者と実需者のミスマッチを解消し、今後の植木の安定生産につなげるため、植木生産者の生産植木による見本園を設置した。また、生垣の展示ブースも整備し、刈込の頻度と植生の様子を具体的に示し、実用的な生垣管理の方法を提案した。

(ウ) 植木生産のPR等

- ・ 植木見本園を活用し、供給可能樹種をPRするため、カタログを作成した
- ・ 植木共進会の開催に合わせ、①植木手入実演会、②園芸相談コーナーを実施した

(エ) 植木研修会の開催

- ・ 生産者と実需者のミスマッチを解消し今後の安定生産につなげるため、研修会を開催した。講演会では、設計・施工を行う実需者より、住まいにおける植物の重要性、住宅における植栽例等を学んだ。

内容：植木見本園の視察、講演会、情報交換

日時：令和6年11月13日

出席者：44名

キ 県産植木の販路拡大事業（県委託事業）

外国人が多く訪れる公共施設や商業施設において県産植木の展示等を行い、輸出拡大等による需要拡大を図った。

(ア) 植木展示の実施

期間：令和7年1月24日～2月3日

場所：成田国際空港第1ターミナル4階 北ウイング3面マルチビジョン前

(イ) 植木伝統樹芸技術の実演会等の実施

実施日：令和7年1月31日

場所：成田国際空港第1ターミナル4階 北ウイング3面マルチビジョン前

(2) 農山漁村発イノベーション（旧：6次産業化）の推進

ア 相談窓口の設置

農山漁村発イノベーションサポートセンターを令和6年6月9日に開設し、延べ43件の農林漁業者等からの相談があり、電話、メール、対面等により助言を行った。

イ 支援対象者への支援

地域支援検証委員会で決定した1支援対象者に、地域プランナーを派遣し、支援を行った。派遣実績は、延べ2回であった。

ウ 交流会の開催

12月17日に千葉銀行本店大ホールにおいて、「ちばのキラリ 6次産業化・農商工連携 商品開発研修&ニーズマッチングイベント」を開催した。

参加者は67名50社だった。

エ 人材育成研修会の開催

11月13日、20日にホテルプラザ菜の花において、農福連携、衛生管理、販路開拓、デジタル技術活用の内容で人材育成研修会を開催した。

受講申込15名で、出席者は延べ19名であった。1受講者から相談を受け支援を行った。

3 食育促進事業

全国に誇る千葉の園芸農産物「クリアファイル」の作成・配布

食育活動が地域に根ざした継続的な取組として定着するよう、各地域で食育活動に取り組む小学校を対象とした教育機関や生産者団体等に対し、県産農産物を紹介した印刷資材や教材等を提供した。

ア 主な配布先 24団体(市町村・学校給食センター等15団体、小・中学校9校)

イ 配布実績 8,000部(上限500枚/1ヶ所、先着順により、希望数を提供)

4 情報活動事業

(1) ホームページによる情報発信

協会ホームページにより、以下の情報を発信した。

ア 組織概要：定款、役員名簿、会員名簿、事業計画・収支予算、事業報告・収支決算など

イ 生産者団体(野菜連・果樹連・花き連・植木連・いちご連)の ページを作成し、組織概要、活動に関しての情報提供など

ウ 各種事業の活動紹介、事業案内、流通情報、農地情報、農地中間管理事業内容、集積推進状況など

エ 主催行事(共進会、フェスティバル 等)の紹介など

(2) 機関紙「千葉の園芸」の発行

機関紙「千葉の園芸」を毎月発行し、技術情報や行政情報、優良産地の取組事例などを紹介した。

ア 発行日：毎月1日(全6頁)

イ 発行方法

(ア) 協会ホームページへの掲載

(イ) 紙媒体での作成 発行 280部/月

ウ 配付先

会員(県内農協・市町村等)、県内生産者、卸売市場関係者、行政関係部署

第3 野菜価格補償事業（公益目的事業2）

本事業は、主要野菜を計画的に生産出荷する産地において、市場価格が下落した際に、その減収となった差額を生産者に補給することで、再生産可能な経営を維持し、消費者に青果物を安定的に供給することを目的としている。野菜生産出荷安定法における「野菜指定産地」を対象とした指定野菜価格安定対策事業に準じ、園芸協会では、県単事業の（1）千葉県青果物価格補償事業と、国庫事業の（2）特定野菜等供給産地育成価格差補給事業を実施している。

1 令和6年度の青果物に係る生産・販売概況

令和6年度春作は、2月の悪天候や3月以降の気温変動が大きく、青果物の入荷量は前年並み～やや減で推移した。特に、キャベツ、にんじん、だいこん等が前年より入荷量が減少したため単価は前年を上回った。また6月にはだいこん等で、7月にはにんじん等で、生育回復等により前年入荷量を上回った。

秋冬作については、高温や干ばつの影響で、青果物の入荷量は前年比やや減で推移した。特に、ねぎ、トマト、キャベツ、にんじん等で前年より入荷量が減少したため、平年を大幅に上回る高値基調となった。

年明けは、冬場の低温乾燥の影響により、青果物の入荷量は前年並み～やや減で推移した。特に、ブロッコリー、キャベツ等は、前年より入荷量が減少したため単価は前年を上回った。

2 交付金の交付状況（事業年度ベース）

（1）千葉県青果物価格補償事業

キャベツの6月下旬～7月中旬、トマトの7月、レタスの3月下旬、わけぎの4～5月等で販売単価が低調となり、補償交付金6,460,443円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

キャベツ	487,966 円	ねぎ	455,890 円
ごぼう	281,138 円	ほうれんそう	100,470 円
だいこん	0 円	レタス（結球）	564,959 円
トマト	2,015,345 円	わけぎ	2,286,142 円
にんじん	0 円	サラダ菜	268,533 円
		小計	6,460,443 円

（2）特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

ア 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

にらの7月上・中旬、ブロッコリーの3月で販売単価が低調となり、価格差補給交付金1,119,541円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

かぶ	0 円	ブロッコリー	380,045 円
そらまめ	0 円	ながいも以外のやまのいも	0 円
にら	739,496 円		
		小計	1,119,541 円

イ 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

夏秋キャベツの7月上旬、春だいこんの6月中旬等で販売単価が低調となり、価格差補給交付金 1,474,597 円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

夏秋キャベツ	848,036 円	冬春トマト	0 円
冬キャベツ	8,001 円	夏秋きゅうり	0 円
春だいこん	618,560 円	冬にんじん	0 円
冬春ミニトマト	0 円		
		小計	1,474,597 円

3 研修会の開催

(1) 令和6年度第1回野菜価格安定対策事業説明会

ア 期 日：令和6年7月25日（木）

イ 開催方法：Web会議

ウ 参集範囲：JA等

エ 参加人数：38名

オ 内 容：野菜価格安定対策事業の概要及び事務手続き等

(2) 令和6年度第2回野菜価格安定対策事業説明会

ア 期 日：令和6年9月27日（金）

イ 開催方法：Web会議

ウ 参集範囲：JA等、市町村、農業事務所

エ 参加人数：45名

オ 内 容：野菜価格安定対策事業の概要

小売業者における野菜の販売促進企画実態調査について

第4 農地中間管理事業（公益目的事業3）

農業経営の規模拡大、農用地の集積・集約及び新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進等により農地利用の効率化及び高度化を図るため、農地中間管理機構（以下「機構」という）として、農地所有者と耕作者の間に立って農地の貸借等を行った。

1 事業実績

（1）年度別実績の推移

借入面積は1, 805ha、転貸面積は2, 003haとなった。

区 分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
借受面積(ha)	927	1, 311	1, 662	1, 241	1, 805
借受件数(件)	1, 936	2, 917	3, 620	2, 834	3, 992
転貸面積(ha)	986	1, 489	1, 844	1, 563	2, 003
転貸件数(件)	1, 222	3, 284	1, 673	1, 745	1, 316

※令和4年度は制度変更（円滑化団体が賃借を行っていた農地を機構が継承する制度の最終年）により駆け込み申請が集中したため、大幅に増加した。

（2）令和6年度の実績

ア 農地の借受、転貸の状況

区 分	農 地		
	件 数	面 積	累計 (H26～R6)
借受	3, 992件	1, 805ha	11, 162ha
転貸	1, 316件	2, 003ha	10, 643ha

イ 転貸先の状況

担い手（認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者）への転貸としては、件数が873件と66%、面積が1, 691haと84%を占めた。経営体としては個人が1, 129件（1, 263ha）、法人が187件（740ha）となった。

転貸先	経営体数	転貸面積(ha)
(1) 個人	1, 129	1, 263
ア 認定農業者	485	830
イ 認定新規就農者	47	26
ウ 基本構想水準到達者	183	147
エ その他	414	260
(2) 法人	187	740
ア 認定農業者	144	679
イ 認定新規就農者	7	2
ウ 基本構想水準到達者	7	7
エ その他	29	52
(1) + (2) の合計 A	1, 316	2, 003
うち担い手 ((1) ア～ウ + (2) ア～ウ) B	873	1, 691
B / A	66. 3%	84. 4%

ウ 令和6年度農地中間管理事業による農地の貸借実績

	市町村	令和5年度実績					令和6年度実績					令和6年度末時点(累計)	
		機構 借受面積 (ha)	件数 ※1	機構 転貸面積 (ha)	うち 新規 集積面積 (ha)	件数 ※2	機構 借受面積 (ha)	件数 ※1	機構 転貸面積 (ha)	うち 新規 集積面積 (ha)	件数 ※2	機構 借受面積 (ha)	機構 転貸面積 (ha)
千葉	千葉市	35.5	117	35.3	18.7	37	85.0	248	88.9	42.7	43	253.6	252.5
	習志野市	0.1	1	0.1		1	0.8	4	0.8		2	1.3	1.3
	市原市	6.6	15	6.6	5.8	10	68.3	147	68.7	39.4	35	468.0	283.2
	八千代市	0.2	1	0.2		1	30.6	116	30.6	23.3	6	58.8	49.3
	小計	42.4	134	42.2	24.5	49	184.7	515	189.0	105.5	86	781.8	586.2
東葛飾	市川市												
	船橋市												
	松戸市						3.8	18	3.8	1.6	11	3.8	3.8
	野田市	3.1	12	3.1	1.0	8	7.8	29	9.8	7.0	4	186.8	184.5
	柏市	8.8	31	8.8	3.1	12	12.5	35	14.5	6.0	10	244.0	241.5
	流山市						0.1	1	0.1		1	0.1	0.1
	我孫子市	26.3	43	26.3	12.7	25	70.7	159	76.3	40.9	39	221.9	221.9
	鎌ヶ谷市	0.1	1	0.1	0.1	1						0.1	0.1
	小計	38.4	87	38.4	17.0	46	94.9	242	104.5	55.4	65	656.8	652.0
印旛	成田市	268.5	459	272.4	146.7	340	222.3	346	241.9	107.4	167	1,154.1	1,143.0
	佐倉市	7.0	41	35.0	28.4	19	30.9	94	30.9	11.3	40	149.3	143.2
	四街道市											3.3	3.1
	八街市	3.8	9	3.8	0.2	4	30.9	38	36.3	1.4	11	68.8	68.6
	印西市	4.1	7	6.4	2.9	7	11.3	10	12.3	9.5	6	87.4	87.4
	白井市						1.3	1	1.3		2	3.0	3.0
	富里市			3.5	2.9	6	13.8	9	13.8	0.6	23	50.6	49.4
	酒々井町											3.3	3.0
	栄町	5.5	31	43.0	11.9	24	23.3	20	50.5	36.2	24	548.9	529.4
	小計	289.0	547	364.3	193.0	400	333.8	518	386.9	166.4	273	2,068.6	2,030.0
香取	香取市	365.2	732	428.8	239.0	480	437.8	820	487.9	317.9	316	2,635.6	2,634.5
	神崎町	1.2	3	3.7	0.9	5	14.5	19	17.5	4.3	10	166.8	139.6
	多古町	2.9	3	5.2	3.0	8	11.8	23	12.4	5.2	10	65.4	63.7
	東庄町	3.4	15	3.4	2.6	8	68.5	137	68.5	45.3	9	127.3	127.3
	小計	372.7	753	441.0	245.5	501	532.5	999	586.3	372.8	345	2,995.0	2,965.0
海匠	銚子市	0.1	1	0.1	0.1	1						1.6	1.6
	旭市	9.9	13	18.7	12.5	15	24.0	69	26.0	24.6	21	299.7	299.1
	匝瑳市	49.5	69	67.9	57.2	27	9.2	21	11.5	10.2	9	294.5	294.3
	小計	59.5	83	86.7	69.8	43	33.1	90	37.6	34.9	30	595.8	595.0
山武	東金市	17.2	34	17.3	11.6	29	22.4	30	22.5	12.0	16	184.3	181.8
	山武市	77.3	166	79.0	48.9	98	58.1	112	62.0	10.8	48	520.5	515.5
	大網白里市	9.8	15	9.8	6.0	12	11.9	27	11.9	6.7	8	75.8	75.8
	九十九里町	5.1	16	5.1	2.3	14	7.1	15	7.3	3.2	10	46.4	46.2
	芝山町	1.8	3	1.8	1.2	4	1.7	2	1.7		1	18.3	18.3
	横芝光町	24.4	41	25.8	21.2	17	49.7	81	50.2	31.1	16	384.5	381.9
	小計	135.6	275	138.7	91.2	174	150.9	267	155.7	63.9	99	1,229.8	1,219.5
長生	茂原市	43.6	103	43.6	13.5	67	76.0	215	76.0	24.0	86	200.9	193.4
	一宮町	27.2	85	27.2	13.7	48	22.6	69	23.0	10.1	26	101.7	101.5
	睦沢町	1.4	10	2.8	1.0	8	1.0	6	1.0	0.7	5	98.6	98.5
	長生村	4.6	21	4.7	3.1	13	84.4	220	86.5	24.3	67	180.8	180.8
	白子町	1.6	5	2.6	1.1	5	22.0	45	22.0	12.9	17	120.3	120.3
	長柄町	0.3	1	0.3		1	2.4	5	2.4		5	4.0	4.0
	長南町	16.4	42	104.1	8.9	43	39.3	110	48.2	15.6	25	210.7	204.7
	小計	94.9	267	185.2	41.4	185	247.8	670	259.1	87.5	231	917.1	903.3
夷隅	勝浦市						13.9	35	13.9		2	120.2	14.5
	いすみ市	8.2	22	23.9	17.4	38	4.3	21	15.8	9.6	19	398.8	322.7
	大多喜町	8.5	24	8.5		18	20.6	52	21.4	4.3	26	33.5	32.1
	御宿町						0.5	4	0.5	0.2	2	7.3	7.3
	小計	16.7	46	32.4	17.4	56	39.3	112	51.6	14.2	49	559.8	376.5
安房	館山市	10.1	36	22.4	4.4	41	23.8	84	25.1	15.0	26	101.7	97.0
	鴨川市	0.1	1	0.1		1	0.3	4	0.9	0.3	4	97.0	79.0
	南房総市	43.9	246	73.1	16.8	115	55.4	234	59.6	28.3	65	342.8	336.9
	鋸南町	0.1	1	0.1		1	0.1	1	0.1		1	2.3	1.7
	小計	54.1	284	95.7	21.2	158	79.6	323	85.7	43.6	96	543.8	514.5
君津	木更津市	59.8	174	60.1	28.1	47	21.3	72	21.9	16.6	16	189.6	185.3
	君津市	56.9	120	58.0	37.3	56	72.9	140	101.4	41.0	55	327.3	320.6
	富津市	10.2	29	10.2	9.6	17	11.6	31	11.6	9.1	7	120.5	120.5
	袖ヶ浦市	10.5	35	10.5	6.3	13	2.6	13	11.4	5.7	10	176.5	174.9
	小計	137.4	358	138.8	81.2	133	108.4	256	146.4	72.5	88	813.9	801.3
県合計		1,241	2,834	1,563	802	1,745	1,805	3,992	2,003	1,017	1,362	11,162	10,643

※1 機構へ農地を貸付けた地権者数（件）のこと。

※2 機構から農地を借受けた借受者数（件）のこと。

エ 業務委託の状況

機構業務の一部を市町村や土地改良区に委託し、農地集積、耕作放棄地対策を推進した。

(ア) 委託先及び委託内容

委託先	委託内容
26 市町村 2 法人 9 土地改良区 (我孫子市、佐倉市、八街市、印西市、富里市、栄町、香取市、神崎町、多古町、匝瑳市、山武市、横芝光町、茂原市、一宮町、長生村、白子町、長南町、勝浦市、いすみ市、大多喜町、館山市、鴨川市、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、成田市農業センター、南房総農業支援センター市原市海上土地改良区、市原市佐是土地改良区、東葛北部土地改良区、印旛沼土地改良区、両総土地改良区、長生郡長南町東部土地改良区、安房中央土地改良区、天羽土地改良区、梶山堰土地改良区)	①相談窓口 ②借受予定農用地の現地確認 ③出し手への協議 ④出し手・受け手との条件整備 ⑤契約締結に係る事務支援

(イ) 委託費 精算額：56,046,734円

2 会議の開催

(1) 農地中間管理事業評価委員会

農地中間管理事業の適正な実施を図るため、事業に対して客観的かつ中立公正な判断ができる者を委員とした評価委員会を開催した。

各委員の意見については、ホームページで公表するとともに理事会へ報告し、事業推進に反映させた。

期 日：令和6年6月14日（金）

場 所：千葉県教育会館 本館5階 会議室

出席者：委員4名、関係機関2名、事務局6名

内 容：令和5年度農地中間管理事業実施状況及び実績等に係る資料を説明し、意見を聴取した。各委員からいただいた意見等は以下のとおり。

機構による農地賃借の件数・面積ともに令和5年度は増加しており、着実に集積は進んでいる。

しかしながら、目標値への到達は難しい状況にあるため、農地集積率を更に高められるよう事業に取り組んでいただきたい。

ア 担い手からの賃料未収については、以下のとおり取り組むことを検討していただきたい。

(ア) 担い手からの賃料未収について、回収努力は継続して行っていただきたい。

(イ) 地域相場がある中で出し手との調整が困難ではある点は理解できるが、担い手からの賃料未収が発生しないよう、経営状況にあったより弾力的な賃料設定などについて検討していただきたい。

イ 駅舎へのポスター掲示等、PR活動にも取り組んでいるが、デジタル媒体での広告を取り入れる等、より工夫しながら農家への周知を引き続き進めていきたい。

(2) 農地中間管理事業運営委員会

農地中間管理事業の円滑な推進を図るため、各地域の農業士・指導農業士等を委員とした運営委員会を開催し、意見交換を行った。

期 日：令和6年8月5日（月）

場 所：千葉県自治会館 9階 会議室

出席者：委員11名、関係機関6名、事務局17名

内 容：令和5年度農地中間管理事業の実施状況、農地中間管理事業が抱える課題（未収金及）、地域計画の推進状況について説明した。

なお、事業が抱える課題となっている未収金については、発生の状況、対応策等の意見交換がなされた。

(3) 県・関係機関との会議等

開催日	内 容	出席団体等
4/24	【農地利用集積関連事業担当者説明会】 ・農地利用集積について ・地域計画について ・農地中間管理事業につて ・農地耕作条件改善事業について ・耕作放棄地対策について	関東農政局、関東農政局千葉県拠点、市町村、農業委員会、県農業会議、県農協中央会、県共済組合、県土連、土地改良区、農業事務所、県関係課
5/14 8/19	【地域農地利用集積推進協議会】 ・農地利用集積の進捗状況 ・地域計画について	市町村・農業委員会、土地改良区、農協、農業事務所等
5/21	【農地中間管理機構地方ブロック会議】 ・国への要望書提出に係る意見交換	各都県機構、全国農地保有合理化協会
7/3	【農地中間管理機構と農林水産省の意見交換会】 ・予算要望等に対する農林水産省の見解等 ・令和7年度予算に関する要望 ・農地中間管理事業の運営改善等に関する要望	国（農地政策課）、各都県機構、全国農地保有合理化協会
8/8	【千葉県農地利用集積推進本部会議】 ・農地集積の進捗について ・地域計画の策定推進について ・地域計画の取組事例について	県関係課、農業事務所、県農業会議
8/1	【経営力強化・農地集積シンポジウム】 ・特別講演 食料・農業・農村基本法の成立と日本農業の行方 ・若手農業者事例発表	担い手たる農業者、農業委員、農地利用最適化推進委員、市町村等 720名
9/20	【農地中間管理機構地方ブロック会議】 ・令和7年度予算概算要求 ・各県との意見・情報交換	国（農地政策課）、各都県機構、全国農地保有合理化協会
12/11	【農業参入フェア2024】 ・県ブースによる農業参入相談	各県等団体 約320名

3/14	【農地中間管理機構担当部課長会議】 ・令和7年度農地中間管理事業関連予算 ・その他関連施策等の説明	各都県機構、全国農地保有合理化協会、国（農地政策課）、全国農業会議所
4/8～ 3/24	【地域計画策定に係る協議の場への参加】 ・地域計画について	農業者、市町村、農業委員会、農業事務所等 各地域累計187回参加

3 PR活動

農業者及び土地持ち非農家等に対し、農地中間管理事業を周知するため以下の内容を実施した。

(1) パンフレットの作成配布

農地中間管理事業パンフレット

配布：1万部

内容：事業の仕組み、地域計画の作成、機構集積協力金の概要、Q&A

配布先：市町村、農業事務所、JA、土地改良区等

(2) 広報誌等への掲載

ア 市町村等広報誌への記事記載

市町村・農業委員会及び関係機関へは原稿案を送付し、記事掲載を依頼

イ 千葉の園芸（千葉県園芸協会広報誌）への記事掲載

（千葉県園芸協会ホームページ、会員への郵送）

4 関連事業

(1) 遊休農地解消緊急対策事業

農地の有効利用を図るため草刈り、耕起等の簡易な整備により遊休農地の解消を行った。

・令和6年度の実施状況

市町村	解消面積（㎡）	事業費（円）
成田市	2,007	88,000
東庄町	15,815	693,000
計	17,822	781,000

(2) 農地耕作条件改善事業

既に区画が整備されている農地について、担い手等への農地集約を図るために必要な畦畔除去等による区画の拡大や暗渠排水等の簡易な整備を実施した。

・令和6年度の実施状況（機構が事業主体として実施した地区） 単位：千円

地区	事業期間	事業内容	総事業費	R6 事業費
久住2期 （成田市） ※R4繰越含む	R3～R6	区画拡大 6.21ha 暗渠排水 6.82ha 湧水処理 2.41km	定額 11,232	4,060

定額の総額事業費は国費のみ

(3) 農地売買支援事業（農業経営基盤強化促進法）（収益事業）

空港関連事業

空港周辺農用地の買入れ、売渡し、管理、貸付け及び代替地の管理、譲渡等については、売渡し、管理、貸付けのみ実施した。

ア 売渡し

市町村	売渡先	筆数	面積
成田市	1 者	2	766 m ²

イ 管理

市町村	筆数	面積
成田市、芝山町、酒々井町、多古町	1 2 0 筆	161,591 m ²

ウ 貸付け（上記管理面積の内）

市町村	耕作者	筆数	面積
成田市、芝山町、酒々井町	1 3 人	3 2 筆	52,257 m ²

第5 組織力強化対策事業（共益事業）

1 組織活動支援事業

県内生産者の組織化を促進することにより、経営力の向上を図るとともに、安定した品質での園芸農産物の供給力を高めるため、生産から販売面までの生産者の自主的組織活動を支援した。

（1）事業の支援内容

- ア 消費拡大事業（製品の理解促進、イベントの開催、出展、共進会等）
- イ 担い手対策事業（研修会、講演会等）
- ウ 各種連合会の部会活動の推進

（2）実施内容

ア 野菜関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
千葉県青果物近畿フェア	令和6年12月7日～8日	(株)万代 (本社：東大阪市)
販売拡大資材作成・配布	令和7年3月	「千葉の園芸」クリアファイル 8,000部
県庁生協と連携した消費宣伝活動	令和6年4月～令和7年2月 (さつまいも、トマト、そら豆、とうもろこし、えだまめ、葉たまねぎ、葉にんにく、レタス、食用なばな)	県庁内生協店舗 JAかとり、JA長生、JA山武郡市、JAちばみどり、JA安房、JAきみつ

イ 果樹関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
千葉なし生産販売対策会議	令和6年7月19日	千葉市
なし販売促進資材作成・配布	令和6年7月～8月	ポスター 3,000部 シール 103,000枚
千葉なし出荷反省会	令和6年11月7日	千葉市
なし研修会 なし花粉自給の取組についての講習	令和6年12月4日	農林総合研究センター
なし研究部研修会 管理研修会 現地研究会 リーダー研修会	令和6年6月28日 令和6年6月28日 令和6年12月11日	農林総合研究センター 〃 〃
びわ現地検討会 ドローン防除技術現地検討会 びわ研修 カラスの生態及び対策について	令和6年5月8日 令和6年11月12日	南房総市 南房総市役所

かんきつ現地研究会	令和6年10月10日	南房総市
県庁生協と連携した消費宣伝活動	令和6年8月～9月 (梨)	県庁内生協店舗 JA長生、JAいちかわ

ウ 花き関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
生産者向け研修会	令和6年10月10日	千葉市文化センター
千葉県フラワーフェスティバル	令和7年1月17日～18日	そごう千葉店
千葉県産花き市場展示PR	令和7年2月24日～28日	東京都板橋市場
部会活動の推進	通年(カーネーション、鉢物、球根切花、洋ラン)	全域
ジャパンフラワー強化推進プロジェクト事業の取組	通年	全域

エ 植木関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
千葉県植木共進会 (千葉県植木まつり)	令和6年10月19日～20日	東金植木流通センター
見本園を活用した東京近郊生産者交流会・植木研修会	令和6年11月13日	協会種苗センター(長生村)

オ いちご関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
いちご研修会	令和6年7月3日	のぎくプラザ
いちご視察研修会	令和6年11月5日	千葉市内生産者2戸 農林総合研究センター
役員視察研修会	令和6年11月21日～22日	岡山県
原種苗委託増殖事業	令和6年10月	成田市・長生村

2 活動促進事業

以下の団体に取り組む活動を支援し、連携強化を図った。

- (1) 千葉県農業者総合支援センター(会員)
- (2) 一般社団法人千葉県農業会議(会員)
- (3) 千葉県農業用廃プラスチック対策協議会(会員)
- (4) 一般社団法人千葉県農業協会(会員)
- (5) 千葉県花き振興地域協議会(協議会事務局／運営・支援)

3 大会等への参加

(1) 第46回全国土地改良大会千葉大会（協賛）

・令和6年7月9日（水） 於：幕張メッセ イベントホール

(2) 一般社団法人千葉県農業会議70周年記念式典

・令和6年8月1日（木） 於：青葉の森公園芸術文化ホール

(3) 第39回J A千葉大会

・令和6年12月24日（火） 於：TKP東京ベイ幕張ホール

正味財産増減計算書
令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	298,345	575,172	△ 276,827
特定資産運用益計	298,345	575,172	△ 276,827
受取会費			
正会員受取会費	36,372,460	36,723,530	△ 351,070
賛助会員受取会費	1,510,000	1,495,000	15,000
受取会費計	37,882,460	38,218,530	△ 336,070
事業収益			
販売用農地売却収入	7,077,584	928,512	6,149,072
農地賃貸料収益	681,413,819	506,174,730	175,239,089
農地管理収益	4,816,323	4,844,690	△ 28,367
空港農地直接経費収益	222,000	221,100	900
事業収益計	693,529,726	512,169,032	181,360,694
受取補助金等			
受取国庫補助金	188,953,924	182,174,200	6,779,724
受取県補助金	12,300,000	12,236,000	64,000
受取補助金等計	201,253,924	194,410,200	6,843,724
受取負担金			
価格補償事業運営費	4,500,000	4,500,000	0
受取負担金計	4,500,000	4,500,000	0
雑収益			
受取利息	260,905	171,318	89,587
雑収益	143,784	26,904	116,880
雑収益計	404,689	198,222	206,467
受取県受託金	84,899,337	79,747,719	5,151,618
受取受託金	84,899,337	79,747,719	5,151,618
経常収益計	1,022,768,481	829,818,875	192,949,606
(2) 経常費用			
事業費計	1,005,948,044	819,953,860	185,994,184
管理費計	13,838,341	12,653,740	1,184,601
経常費用計	1,019,786,385	832,607,600	187,178,785
評価損益等調整前当期経常増減額	2,982,096	△ 2,788,725	5,770,821
当期経常増減額	2,982,096	△ 2,788,725	5,770,821
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,982,096	△ 2,788,725	5,770,821
法人税、住民税及び事業税	479,000	505,600	△ 26,600
当期一般正味財産増減額	2,503,096	△ 3,294,325	5,797,421
一般正味財産期首残高	117,861,494	121,155,819	△ 3,294,325
一般正味財産期末残高	120,364,590	117,861,494	2,503,096
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	150,000,000	150,000,000	0
指定正味財産期末残高	150,000,000	150,000,000	0
III 正味財産期末残高	270,364,590	267,861,494	2,503,096

正味財産増減計算書内訳表
令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計						収益事業等会計			法人会計	合計
	公益目的事業 会計	生産振興対策 事業(公1)	野菜価格補償 事業(公2)	農地中間管理 事業(公3)	公益目的事業 (共通)	小計	農地売買支援 事業(収益)	組織力強化 対策(共益)	小計		
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用益											
特定資産受取利息										298,345	298,345
特定資産運用益計										298,345	298,345
受取会費											
正会員受取会費		16,550,000	250,000	1,200,000	186,230	18,186,230		1,088,000	1,088,000	17,098,230	36,372,460
賛助会員受取会費			60,000		695,000	755,000				755,000	1,510,000
受取会費計		16,550,000	310,000	1,200,000	881,230	18,941,230		1,088,000	1,088,000	17,853,230	37,882,460
事業収益											
販売用農地売却収入							7,077,584		7,077,584		7,077,584
農地賃貸料収益				681,071,595		681,071,595	342,224		342,224		681,413,819
農地管理収益							4,816,323		4,816,323		4,816,323
空港農地直接経費収益							222,000		222,000		222,000
事業収益計				681,071,595		681,071,595	12,458,131		12,458,131		693,529,726
受取補助金等											
受取国庫補助金				188,953,924		188,953,924					188,953,924
受取県補助金		9,800,000				9,800,000	2,500,000		2,500,000		12,300,000
受取補助金等計		9,800,000		188,953,924		198,753,924	2,500,000		2,500,000		201,253,924
受取負担金											
価格補償事業運営費			4,500,000			4,500,000					4,500,000
受取負担金計			4,500,000			4,500,000					4,500,000
雑収益											
受取利息		3,263	187,823			191,086	16,490		16,490	53,329	260,905
雑収益				116,800		116,800				26,984	143,784
雑収益計		3,263	187,823	116,800		307,886	16,490		16,490	80,313	404,689
受取県受託金		83,169,737	1,729,600			84,899,337					84,899,337
受取受託金		83,169,737	1,729,600			84,899,337					84,899,337
経常収益計		109,523,000	6,727,423	871,342,319	881,230	988,473,972	14,974,621	1,088,000	16,062,621	18,231,888	1,022,768,481
(2) 経常費用											
事業費											
役員報酬		1,399,200	1,399,200	6,395,064		9,193,464	500,136		500,136		9,693,600
給料手当		52,706,483	3,531,282	69,925,784		126,163,549	1,419,653		1,419,653		127,583,202
臨時雇賃金		9,038,773		4,455,440		13,494,213					13,494,213
退職給付費用		703,200				703,200	402,910		402,910		1,106,110
法定福利費		10,866,998	683,326	12,100,554		23,650,878	284,413		284,413		23,935,291
福利厚生費		176,867	5,421	265,594		447,882	26,589		26,589		474,471
旅費交通費		3,228,452	15,174	1,567,693		4,811,319	26,738		26,738		4,838,057
通信運搬費		696,301	115,203	7,066,270		7,938,615	24,836		24,836		7,963,451
機械装置減価償却費		710,930				710,930					710,930
備品費		234,599				234,599					234,599
消耗品費		1,363,938	96,500	1,492,112	789,886	3,742,436	112,827		112,827		3,855,263
修繕費		39,710				39,710					39,710
印刷製本費		791,362	39,600	330,000		1,160,962					1,160,962
資材費		7,811,129				7,811,129					7,811,129
会議費		504,689		79,894		584,583					584,583
光熱水道費		3,341,590		202,614		3,544,204	693		693		3,544,897
賃借料		2,983,813	133,488	8,084,829		11,202,130	352,580		352,580		11,554,710
諸謝金		2,909,249		3,240		2,912,489					2,912,489
報償費		102,080		156,000		258,080					258,080
租税公課		6,797,952	139,488	4,400		6,941,840	672,727		672,727		7,614,567
支払負担金		30,000		100,000	50,000	180,000	270,000				770,000
支払助成金								320,000	590,000		768,000
								768,000	768,000		768,000

	委託費		5,124,843	711,798	65,946,559		71,783,200	101,241		101,241		71,884,441
	農地売却原価							7,241,332		7,241,332		7,241,332
	農地賃借料				685,526,936		685,526,936	342,224		342,224		685,869,160
	貸倒償却				2,047,937		2,047,937					2,047,937
	中間管理農用地管理費				7,377,856		7,377,856					7,377,856
	支払手数料		27,258	1,452	33,110		61,820	2,838		2,838		64,658
	雑費		281,620		271,976		553,596	750		750		554,346
	事業費計		111,871,036	6,871,932	873,433,862	900,727	993,077,557	11,782,487	1,088,000	12,870,487		1,005,948,044
	管理費											
	役員報酬									2,798,400		2,798,400
	給料手当									4,460,344		4,460,344
	臨時雇用賃金									176,392		176,392
	退職給付費用									590,450		590,450
	法定福利費									3,270,494		3,270,494
	福利厚生費									57,508		57,508
	会議費									180,140		180,140
	旅費交通費									208,846		208,846
	通信運搬費									626,452		626,452
	消耗品費									356,872		356,872
	賃借料									838,172		838,172
	租税公課									2,263		2,263
	支払手数料									5,742		5,742
	委託費									216,936		216,936
	雑費									49,330		49,330
	管理費計									13,838,341		13,838,341
	経常費用計		111,871,036	6,871,932	873,433,862	900,727	993,077,557	11,782,487	1,088,000	12,870,487	13,838,341	1,019,786,385
	評価損益等調整前当期経常増減額		△ 2,348,036	△ 144,509	△ 2,091,543	△ 19,497	△ 4,603,585	3,192,134	0	3,192,134	4,393,547	2,982,096
	当期経常増減額		△ 2,348,036	△ 144,509	△ 2,091,543	△ 19,497	△ 4,603,585	3,192,134	0	3,192,134	4,393,547	2,982,096
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
経常外費用計												
当期経常外増減額												
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 2,348,036	△ 144,509	△ 2,091,543	△ 19,497	△ 4,603,585	3,192,134	0	3,192,134	4,393,547	2,982,096	
他会計振替額	1,518,481					1,518,481	△ 1,518,481		△ 1,518,481		0	
税引前当期一般正味財産増減額	1,518,481	△ 2,348,036	△ 144,509	△ 2,091,543	△ 19,497	△ 3,085,104	1,673,653	0	1,673,653	4,393,547	2,982,096	
法人税、住民税及び事業税							479,000		479,000		479,000	
当期一般正味財産増減額	1,518,481	△ 2,348,036	△ 144,509	△ 2,091,543	△ 19,497	△ 3,085,104	1,194,653	0	1,194,653	4,393,547	2,503,096	
一般正味財産期首残高	47,868,433	△ 46,026,437	27,283,326	△ 12,222,752	11,523,812	28,426,382	12,201,369	△ 2,902,606	9,298,763	80,136,349	117,861,494	
一般正味財産期末残高	49,386,914	△ 48,374,473	27,138,817	△ 14,314,295	11,504,315	25,341,278	13,396,022	△ 2,902,606	10,493,416	84,529,896	120,364,590	
Ⅱ 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額												
指定正味財産期首残高										150,000,000	150,000,000	
指定正味財産期末残高										150,000,000	150,000,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	49,386,914	△ 48,374,473	27,138,817	△ 14,314,295	11,504,315	25,341,278	13,396,022	△ 2,902,606	10,493,416	234,529,896	270,364,590	

貸借対照表
令和 7年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	差異
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	200,051,003	203,134,698	△ 3,083,695
未収金	46,589,535	49,343,113	△ 2,753,578
販売用農地(空港関連農地)	870,140,201	873,018,672	△ 2,878,471
前払費用	99,000	148,500	△ 49,500
農地耕作条件改善事業仮払金	0	1,421,500	△ 1,421,500
貸倒引当金	△ 2,047,937	0	△ 2,047,937
流動資産合計	1,114,831,802	1,127,066,483	△ 12,234,681
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	16,996,930	15,300,370	1,696,560
青果物価格補償事業引当資産	399,041,774	425,813,610	△ 26,771,836
事業円滑化積立資産	150,000,000	150,000,000	0
特定資産合計	566,038,704	591,113,980	△ 25,075,276
(3) その他固定資産			
機械装置	1,044,533	1,755,463	△ 710,930
合理化事業 長期未収金	402,000	420,000	△ 18,000
保証金	30,000	30,000	0
外部出資金	350,000	350,000	0
その他固定資産合計	1,826,533	2,555,463	△ 728,930
固定資産合計	567,865,237	593,669,443	△ 25,804,206
資産合計	1,682,697,039	1,720,735,926	△ 38,038,887
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	72,507,921	83,959,130	△ 11,451,209
未払費用	7,376,410	7,017,682	358,728
未払消費税等	2,334,000	2,205,600	128,400
仮受金	31,677,614	30,808,818	868,796
未払法人税等	479,000	505,600	△ 26,600
担い手支援資金借入金	1,712,392	920,991	791,401
1年以内返済長期借入金	2,000,000	2,000,000	0
農地耕作条件改善事業仮受金	0	1,421,500	△ 1,421,500
流動負債合計	118,087,337	128,839,321	△ 10,751,984
2. 固定負債			
農業開発公社清算費用長期借入金	94,000,000	96,000,000	△ 2,000,000
退職給付引当金	16,996,930	15,300,370	1,696,560
青果物価格補償事業預り金	399,041,774	425,813,610	△ 26,771,836
農地預り金	784,206,408	786,921,131	△ 2,714,723
固定負債合計	1,294,245,112	1,324,035,111	△ 29,789,999
負債合計	1,412,332,449	1,452,874,432	△ 40,541,983
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体助成金	150,000,000	150,000,000	0
指定正味財産合計	150,000,000	150,000,000	0
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(150,000,000)	(150,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	270,364,590	267,861,494	2,503,096
負債及び正味財産合計	1,682,697,039	1,720,735,926	△ 38,038,887

貸借対照表内訳表
令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	146,262,787	25,104,849	28,683,367	200,051,003
未収金	39,273,212	7,316,323		46,589,535
販売用農地(空港関連農地)		870,140,201		870,140,201
前払費用	16,500	82,500		99,000
貸倒引当金	△ 2,047,937			△ 2,047,937
流動資産合計	183,504,562	902,643,873	28,683,367	1,114,831,802
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産合計	0	0	0	0
(2) 特定資産				
退職給付引当資産			16,996,930	16,996,930
青果物価格補償事業引当資産	399,041,774			399,041,774
事業円滑化積立資産			150,000,000	150,000,000
特定資産合計	399,041,774		166,996,930	566,038,704
(3) その他固定資産				
機械装置	1,044,533			1,044,533
合理化事業 長期未収金		402,000		402,000
保証金	22,000		8,000	30,000
外部出資金		350,000		350,000
その他固定資産合計	1,066,533	752,000	8,000	1,826,533
固定資産合計	400,108,307	752,000	167,004,930	567,865,237
資産合計	583,612,869	903,395,873	195,688,297	1,682,697,039
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	72,189,659		318,262	72,507,921
未払費用	7,189,410		187,000	7,376,410
未払消費税等			2,334,000	2,334,000
仮受金	31,677,614			31,677,614
未払法人税等		479,000		479,000
担い手支援資金借入金	1,712,392			1,712,392
1年以内返済長期借入金		2,000,000		2,000,000
流動負債合計	112,769,075	2,479,000	2,839,262	118,087,337
2. 固定負債				
農業開発公社清算費用長期借入金		94,000,000		94,000,000
退職給付引当金			16,996,930	16,996,930
青果物価格補償事業預り金	399,041,774			399,041,774
農地預り金		784,206,408		784,206,408
固定負債合計	399,041,774	878,206,408	16,996,930	1,294,245,112
負債合計	511,810,849	880,685,408	19,836,192	1,412,332,449
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体助成金			150,000,000	150,000,000
指定正味財産合計			150,000,000	150,000,000
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)			(150,000,000)	(150,000,000)
2. 一般正味財産	25,339,536	10,493,359	84,531,695	120,364,590
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)				
正味財産合計	25,339,536	10,493,359	234,531,695	270,364,590
負債及び正味財産合計	537,150,385	891,178,767	254,367,887	1,682,697,039

財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	(株)千葉銀行 他	運転資金、未払金費用等	200,051,003
	未収金	農地賃貸料未収金 他	農地賃貸料等に係る未収金 等	46,589,535
	販売用農地(空港関連農地)	農用地(全120筆)	空港周辺販売用農用地	870,140,201
	前払費用	高橋 成、㈱ニュー千葉 他	駐車場料金の前払費用	99,000
	貸倒引当金	農地中間管理事業賃貸料	農地中間管理事業賃貸料未収金 農地貸倒引当金	△ 2,047,937
流動資産合計				1,114,831,802
(固定資産)				
基本財産				0
特定資産				566,038,704
	退職給付引当資産	(株)千葉銀行	職員に対する退職給付金の引当資産	16,996,930
	青果物価格補償事業引当資産	(株)千葉銀行	価格補償事業における事業資金の引当資産	29,041,774
		千葉みらい農業協同組合	価格補償事業における事業資金の引当資産	370,000,000
	事業円滑化積立資産	千葉県債	財政基盤の強化と事業効率化のための事業円滑化引当資産	100,000,000
		千葉みらい農業協同組合	財政基盤の強化と事業効率化のための事業円滑化引当資産	50,000,000
その他固定資産				1,826,533
	機械装置	機械装置 (農業機械類)	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している資産(種苗)	1,044,533
	合理化事業 長期未収金	農地長期貸付者 (1件)	収益事業における農地保有合理化事業のための資産	402,000
	保証金	㈱ニュー千葉	公益目的事業に使用する駐車場利用のための保証金	30,000
	外部出資金	全国農地保有合理化協会 債務補償事業出資金	農地保有合理化事業に係る出資金	350,000
固定資産合計				567,865,237
資産合計				1,682,697,039
(流動負債)				
	未払金	国、千葉県、市町村 他	農地中間管理事業の市町村等への業務委託費の未払金、国への補助金返還等	72,507,921
	未払費用	職員	翌月支給に係る嘱託職員及び日々雇用職員の未払給与	7,376,410
	未払消費税等	千葉東税署	課税所得に対する消費税	2,334,000
	仮受金	国、千葉県	農地賃借料の未払いに関する補助金の借受金 等	31,677,614
	未払法人税等	千葉東税署、千葉県税事務所 他	収益事業に対する法人税・地方法人税	479,000
	担い手支援資金借入金	農地保有合理化協会	所有不明農地に関する供託への借入金	1,712,392
	1年以内返済長期借入金	千葉県	農業開発公社清算債務借入金及び旧合理化事業1年以内返済金	2,000,000
流動負債合計				118,087,337
(固定負債)				
	農業開発公社清算費用借入金	千葉県	農業開発公社清算債務借入金	94,000,000
	退職給付引当金	(株)千葉銀行	職員に対する退職給付金の引当資産	16,996,930
	青果物価格補償事業預り金	千葉県、全農千葉県本部、JA 他	価格補償事業に係る造成資金	399,041,774
	農地預り金	農用地(全120筆)	空港周辺販売用預かり農用地	784,206,408
固定負債合計				1,294,245,112
負債合計				1,412,332,449
正味財産合計				270,364,590

財務諸表に対する注記

1 会計基準

公益法人会計基準（平成 20 年 4 月 11 日・内閣府公益認定等委員会）を採用している。

2 重要な会計方針

（1）固定資産の減価償却の方法

固定資産については、定率法により減価償却を行っている。

（2）引当金の計上基準

退職給付引当金については、職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

（3）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

3 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	15,300,370	1,696,560	0	16,996,930
青果物価格補償事業引当資産	425,813,610	△26,771,836	0	399,041,774
事業円滑化積立事業引当資産	150,000,000	0	0	150,000,000
小計	591,113,980	△25,075,276	0	566,038,704

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に対応 する額）
1. 基本財産				
基本財産引当資産	0	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
小計	0	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
2. 特定資産				
退職給付引当資産	16,996,930	（ 0 ）	（ 0 ）	（16,996,930）
青果物価格補償事業引当資産	399,041,774	（ 0 ）	（ 0 ）	（399,041,774）
事業円滑化積立事業引当資産	150,000,000	（150,000,000）	（ 0 ）	（ 0 ）
小計	566,038,704	（150,000,000）	（ 0 ）	（416,038,704）

※青果物価格補償事業引当資産に係るその他注記、及び以下の資金等内訳については、別途資料により説明。

- （1）令和 6 年度野菜価格安定事業に係る資金内訳
- （2）令和 6 年度野菜価格安定事業に係る資金造成計画総括表
- （3）令和 6 年度野菜価格安定事業の特別業務資金に係る内訳

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

単位：円

科目	種類	数量	関連 事業	取得 年度	取得価額	減価償却 累計額	当期末 残高
機械 装置	ニブロ 掘取機	1 台	種苗	H26	312,120	312,119	1
	ニブロ ロータリー	1 台	種苗	H26	658,800	658,799	1
	バロネス ハンマーナイフモア	1 台	種苗	H26	509,760	509,759	1
	ウッドチップパー	1 台	種苗	H27	504,792	504,791	1
	超音波加湿器	1 台	種苗	H28	639,446	639,445	1
	土壌消毒器	1 台	種苗	H28	993,600	993,599	1
	ミニショベル	1 台	種苗	H29	2,103,600	2,103,599	1
	びわかん水装置	1 台	種苗	H29	756,000	755,999	1
	マルヤマモア(大型草刈り機)	1 台	種苗	H30	756,000	692,323	63,677
	冷風機	1 台	種苗	R1	228,420	206,736	21,684
	デリカ マニアスプレッダ	1 台	種苗	R2	786,720	587,129	199,591
	丸山 自走セット動噴	1 台	種苗	R2	289,080	215,740	73,340
	オーレック草刈り機	2 台	種苗	R2	488,400	364,493	123,907
	防除剤用動噴	1 台	種苗	R4	160,820	94,465	66,355
	防除剤用動噴	1 台	種苗	R4	178,530	98,361	80,169
	落花生掘取機	1 台	種苗	R4	568,700	285,688	283,012
	農業用高圧洗浄機	1 台	種苗	R5	190,520	57,730	132,790
合計		18 台	-	-	10,125,308	9,080,775	1,044,533

6 補助金等の内訳及び交付者

補助金等の内訳及び交付者については、次のとおりである。

単位：円

補助金等名称	交付者	当期末残高
園芸産地強化・連携支援事業補助金	千葉県	9,800,000
農地中間管理事業補助金	国及び千葉県	188,953,924
農地売買支援事業補助金	千葉県	2,500,000
(補助金) 小計	-	201,253,924

7 退職給付関係

(1) 退職給付債務及びその内訳

単位：円

退職給付引当金	16,996,930	職員に対する退職給付引当金
---------	------------	---------------

(2) 引当金の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

＜参考1＞令和6年度 野菜価格安定事業に係る資金内訳(会計年度ベース)

(令和7年3月31日時点の資金残高の内訳)

事業名	(参考) 右記 造成額の内訳			園芸協会に 造成されている金額 (県・全農・JA分)
	県	全農	JA	
千葉県青果物価格補償事業	120,037,831 円	27,281,319 円	70,931,448 円	218,250,598 円
特定野菜供給産地育成価格差補給事業	60,843,317 円	19,914,376 円	40,928,944 円	121,686,637 円
指定野菜供給産地育成価格差補給事業	12,633,979 円		12,633,977 円	25,267,956 円
特別業務資金	28,521,710 円	5,314,873 円	0 円	33,836,583 円
合計	222,036,837 円	52,510,568 円	124,494,369 円	399,041,774 円

＜参考2＞令6年度 野菜価格安定事業に係る資金造成計画総括表(事業年度ベース)

1 千葉県青果物価格補償事業

対象野菜	出荷期間	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		①	②	③	④(②-③)	⑤	⑥	⑦	⑧(②-⑦)
	(月)	(kg)	(円)	(円)	(円)	(kg)	(kg)	(円)	(円)
キャベツ	5.1～7.31	493,000	9,736,750	9,736,750	0	410,970	322,120	487,966	9,248,784
	10.1～12.31	78,000	1,636,440	1,075,000	561,440	3,990	3,990	0	1,636,440
	小 計	571,000	11,373,190	10,811,750	561,440	414,960	326,110	487,966	10,885,224
ごぼう	10.1～12.31	61,000	3,113,440	2,539,584	573,856	2,250	2,250	57,064	3,056,376
	1.1～3.31	28,000	1,770,720	994,404	776,316	3,820	3,820	224,074	1,546,646
	小 計	89,000	4,884,160	3,533,988	1,350,172	6,070	6,070	281,138	4,603,022
だいこん	4.1～6.30	400,000	9,720,000	9,720,000	0	119,370	118,720	0	9,720,000
トマト	5.1～6.30	63,000	4,276,440	4,276,440	0	158,789	51,578	0	4,276,440
	7.1～7.31	58,800	4,582,872	4,355,722	227,150	46,016	42,708	2,015,345	2,567,527
	小 計	121,800	8,859,312	8,632,162	227,150	204,805	94,286	2,015,345	6,843,967
にんじん	6.1～7.31	350,000	12,974,500	12,974,500	0	285,540	277,600	0	12,974,500
ねぎ	4.1～6.30	238,500	20,386,980	19,384,912	1,002,068	264,785	212,526	0	20,386,980
	7.1～9.30	55,000	4,631,550	4,407,480	224,070	80,175	44,110	455,890	4,175,660
	10.1～12.31	100,250	8,094,185	8,009,755	84,430	76,135	38,970	0	8,094,185
	1.1～3.31	94,250	7,359,040	7,351,907	7,133	115,980	62,850	0	7,359,040
	小 計	488,000	40,471,755	39,154,054	1,317,701	537,075	358,456	455,890	40,015,865
ほうれんそう	9.1～12.31	17,000	2,219,690	1,429,240	790,450	11,264	6,750	84,685	2,135,005
	1.1～3.31	14,000	1,638,280	1,547,233	91,047	31,835	11,423	15,785	1,622,495
	小 計	31,000	3,857,970	2,976,473	881,497	43,099	18,173	100,470	3,757,500
レタス(結球)	4.1～5.31	73,000	3,187,180	2,968,501	218,679	103,572	69,940	0	3,187,180
	1.1～3.31	76,000	4,914,920	3,888,111	1,026,809	49,060	46,460	564,959	4,349,961
	小 計	149,000	8,102,100	6,856,612	1,245,488	152,632	116,400	564,959	7,537,141
わけぎ	4.1～5.31	51,100	9,654,834	5,092,338	4,562,496	28,208	27,996	2,286,142	7,368,692
	11.1～12.31	41,300	8,385,552	6,543,927	1,841,625	22,193	22,193	0	8,385,552
	3.1～3.31	21,300	4,262,130	2,863,824	1,398,306	8,961	8,478	0	4,262,130
	小 計	113,700	22,302,516	14,500,089	7,802,427	59,362	58,667	2,286,142	20,016,374
サラダ菜	4.1～6.30	289,000	21,628,760	21,628,760	0	180,719	180,719	0	21,628,760
	7.1～9.30	268,000	31,618,640	30,183,093	1,435,547	126,284	126,241	268,533	31,350,107
	10.1～12.31	205,000	24,501,600	24,435,098	66,502	140,895	140,895	0	24,501,600
	1.1～3.31	206,000	23,611,720	23,611,720	0	148,931	148,931	0	23,611,720
	小 計	968,000	101,360,720	99,858,671	1,502,049	596,829	596,786	268,533	101,092,187
合 計		3,281,500	223,906,223	209,018,299	14,887,924	2,419,742	1,971,268	6,460,443	217,445,780

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

(1) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象野菜	出荷期間	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		①	②	③	④(②-③)	⑤	⑥	⑦	⑧(②-⑦)
	(月)	(kg)	(円)	(円)	(円)	(kg)	(kg)	(円)	(円)
かぶ	4.1~6.30	22,000	492,140	492,140	0	39,920	22,000	0	492,140
	10.1~12.31	31,000	728,190	728,190	0	81,880	9,550	0	728,190
	小 計	53,000	1,220,330	1,220,330	0	121,800	31,550	0	1,220,330
そらまめ	5.1~7.31	20,000	1,428,200	1,426,343	1,857	122,247	6,344	0	1,428,200
にら	5.1~6.30	143,000	8,039,460	8,039,460	0	114,356	93,544	0	8,039,460
	7.1~10.31	265,000	25,201,500	25,201,500	0	215,000	178,372	739,496	24,462,004
	11.1~12.31	34,000	5,206,080	4,577,669	628,411	34,100	27,124	0	5,206,080
	1.1~2月末日	30,000	4,723,500	4,714,142	9,358	38,056	28,704	0	4,723,500
	3.1~4.30	144,000	13,403,520	12,862,720	540,800	123,512	114,404	0	13,403,520
	小 計	616,000	56,574,060	55,395,491	1,178,569	525,024	442,148	739,496	55,834,564
ブロッコリー	10.1~12.31	70,000	4,489,800	4,320,499	169,301	9,312	9,308	0	4,489,800
	1.1~3.31	32,000	2,111,360	1,198,146	913,214	14,344	14,040	380,045	1,731,315
	小 計	102,000	6,601,160	5,518,645	1,082,515	23,656	23,348	380,045	6,221,115
ながいも以外の やまのいも	4.1~6.30	272,000	29,501,120	29,501,120	0	131,332	126,140	0	29,501,120
	7.1~9.30	386,000	41,124,440	41,124,440	0	213,516	210,656	0	41,124,440
	10.1~12.31	320,000	32,323,200	32,323,200	0	134,744	134,744	0	32,323,200
	1.1~3.31	167,000	16,147,230	16,147,230	0	90,540	83,640	0	16,147,230
	小 計	1,145,000	119,095,990	119,095,990	0	570,132	555,180	0	119,095,990
合 計		1,936,000	184,919,740	182,656,799	2,262,941	1,362,859	1,058,570	1,119,541	183,800,199

(2)指定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象野菜	出荷期間	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		①	②	③	④(②-③)	⑤	⑥	⑦	⑧(②-⑦)
	(月)	(kg)	(円)	(円)	(円)	(kg)	(kg)	(円)	(円)
夏秋キャベツ	7.1~10.31	1,508,000	29,466,320	29,466,320	0	380,350	372,680	848,036	28,618,284
冬キャベツ	11.1~12.31	500,000	8,990,000	7,549,768	1,440,232	222,970	222,970	0	8,990,000
	1.1~3.31	40,000	886,800	667,279	219,521	34,780	19,150	8,001	878,799
	小 計	540,000	9,876,800	8,217,047	1,659,753	257,750	242,120	8,001	9,868,799
春だいこん	3.16~6.30	430,000	8,961,200	7,199,713	1,761,487	248,870	223,950	618,560	8,342,640
冬春ミニトマト	5.1~6.30	3,000	325,260	325,260	0	8,933	2,621	0	325,260
	11.21~12.31	3,000	436,380	436,380	0	3,624	1,353	0	436,380
	1.1~2月末日	2,000	299,920	186,575	113,345	7,335	2,000	0	299,920
	3.1~4.30	2,500	362,050	362,050	0	9,749	2,500	0	362,050
	小 計	10,500	1,423,610	1,310,265	113,345	29,641	8,474	0	1,423,610
冬春トマト	5.1~6.30	23,000	1,338,600	1,016,636	321,964	83,302	9,108	0	1,338,600
夏秋きゅうり	10.1~11.30	9,000	681,300	654,336	26,964	17,510	3,920	0	681,300
冬にんじん	11.1~12.31	3,000	67,080	67,080	0	0	0	0	67,080
	1.1~3.31	7,000	187,600	187,600	0	8,100	7,000	0	187,600
	小 計	10,000	254,680	254,680	0	8,100	7,000	0	254,680
合 計		2,530,500	52,002,510	48,118,997	3,883,513	1,025,523	867,252	1,474,597	50,527,913

＜参考3＞令和6年度 野菜価格安定事業の特別業務資金に係る内訳
(会計年度ベース)

1 千葉県青果物価格補償事業

No	項目	金額 (県・全農・JA分)	備考
①	令和5年度末 残高	0円	
②	令和6年度 積立分	28,403,674円	
③	令和6年度 返戻分	19,280,522円	
	令和6年度末 残高	9,123,152円	①+②-③

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

(1)特定野菜供給産地育成価格差補給事業

No	項目	金額 (県・全農・JA分)	備考
①	令和5年度末 残高	21,139,802円	
②	令和6年度 積立分	15,191,247円	
③	令和6年度 返戻分	11,617,618円	
	令和6年度末 残高	24,713,431円	①+②-③

(2)指定野菜供給産地育成価格差補給事業

No	項目	金額金額 (県・全農・JA分)	備考
①	令和5年度末 残高	0円	
②	令和6年度 積立分	606,497円	
③	令和6年度 返戻分	606,497円	
	令和6年度末 残高	0円	①+②-③